

シ乙ハ甲ノ營業部類ニ屬スル事業ヲ營ム目的ニ  
テ之ヲ借受ケタリ

第二條 乙ハ前條使用ノ對償トシテ乙ノ經營ニ係ル事業  
ヨリ得タル總收入額ノ壹割ヲ甲ニ對シ毎月其月  
分ヲ計算シ翌月七日限り其支拂ヲ爲スベシコト  
ヲ約シタリ前項乙ノ總收入額ハ毎月二十五日限  
リ明細書ヲ作成シ乙ヨリ甲ニ提示スベキモノトス  
又甲ト何時ニテモ乙ノ營業上書類帳簿類ノ檢閲  
ヲ為スコトヲ得ルモノトス

第三條 本契約ニ因ル使用期間ハ大正十四年五月二十一  
日ヨリ公曆七月三十一日迄トシ該期間限り到來  
ト同時ニ其當時ノ現狀ノ儘ニテ乙ノ使用ニ係ル

物件全部ヲ無條件ニテ甲ニ返還スルコトヲ要ス  
但シ乙ノ購入シタル活字及其附屬品ハ購入原價  
ニ對スル二分ノ一ヲ甲ヨリ乙ニ支拂フベシ

第四條 乙ニ於テ活字及其附屬品ヲ購入セシトスルトキ  
ハ至急ヲ要スル場合ヲ除キ其都度甲ノ指定シタ  
ル人ノ調査ヲ受ケル事ヲ要スベシ但シ其指定ヒ  
ラレタル人ハ當該事項以外ノ事ニ關與セザル事  
ヲ要ス

第五條 第一條記載ノ甲所有ニ屬スル現在ノ活字ハ乙ニ  
於テ鑄込等ヲ為サシムルコト又全上甲所有ノ活字  
及器具類ヲ轉貸シ若クハ他ヨリ借入レタルトキ  
ハ其都度明細書ヲ作成シ乙ヨリ甲ニ其報告ヲ爲